

第3学年 国語科学習指導案

児童 3年2組 男14名 女17名 計31名
指導者 盛合真理子

1 単元名 場面の様子を想像しながら読もう

教材名 「ちいちゃんのかげおくり」 (光村図書 3下)

学習指導要領 第3・4学年<読むこと>

- ・目 標 : 「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」
- ・主たる指導事項 : 「内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。」 <読ア>
「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」 <読ウ>

2 単元について

(1) 児童について

児童は、これまでに「きつつきの商売」や「三年とうげ」、「わたしと小鳥とすずと」で、想像しながら工夫して声に出して読む学習をしてきた。これらの学習を通し、音読の仕方を工夫し、気持ちを込めて音読するようになってきた。しかし、読み取りについては、「叙述に即して読む」のではなく、文全体の感じや自分の憶測で読んでしまう児童が多い。想像を膨らませて内容を読み取ったり、根拠に基づいた考えを表現したりする力には個人差がある。全体的に明るく素直な子が多いが、自分の考えを発言につなげることが苦手である。友達の考えを聞いて、考えを広げたり深めたりできるように育てたい。

(2) 教材について

本単元「場面の様子を想像しながら読もう」は、場面の移り変わりや情景を想像しながら読み、場面の様子や登場人物の気持ちが伝わるように音読することをねらいとしている。

本教材は、幼い少女ちいちゃんを主人公とし、かげおくりという素朴な遊びを取り上げながら戦争の悲惨さと平和への願いを訴えた作品である。本文は、以下の5つの場面によって構成されている。

- ①家族そろって仲睦まじくかげおくりをする、幸せなちいちゃん
- ②激しい空襲のため、母と兄からはぐれ、ひとりぼっちになってしまったちいちゃん
- ③母と兄の帰りを信じて、ひたすら待ち続けるちいちゃん
- ④衰弱し、夢うつつの中で、たった一人でかげおくりをするちいちゃん
- ⑤ちいちゃんが亡くなった数十年後、公園で幸せそうに遊ぶ子どもたち

特に、最後の「それから何十年」かたった町の様子は、現代に生きる私たちに平和の大切さとそれを守ることの尊さを示している。

戦争に対しての知識が乏しい児童にとって、当時の時代背景や生活を理解するのは難しいと思われるが、本教材は、情景や登場人物の言動が生き生きと描かれているので、児童は自分と近い存在であるちいちゃんに感情移入しながら読み進めることができると思われる。家族そろってした初めての「かげおくり」、ちいちゃんとお兄ちゃんがいっしょに遊んだ「かげおくり」、ちいちゃんがたった一つのかげぼうしを見つめながら数を数える「かげおくり」。三つのかげおくりの情景を比べ、ちいちゃんの置かれている状況の変化をとらえることができると思われる。

これらのことから、本教材は、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」ための指導に適した教材といえる。

(3) 指導に当たって

本単元の指導にあたり、「音読発表会」をするという目的意識をもたせ、意欲を継続させながら音読活動に取り組みせていく。読み取りにおいては、叙述に基づいて想像を膨らませ、自分の立場や考えを明確にしなが

ら具体的な発言や文章として表現させていきたい。

第1次では、戦争が遠い存在になっている児童に、戦争を題材にした絵本の読み聞かせをしたり写真やビデオを見せたりして、戦争の様子や戦時中の生活を知らせて関心を深めていきたい。第2次では、戦時下という特別な状況におかれたちいちゃんの様子や気持ちの変化を場面ごとにおさえていく。話し合いの中心部分にサイドラインを引き、自分の考えや感想を書き込みして対話、学び合いをする。また、かげおくりの様子を比べることを通して、ちいちゃんから家族・命・未来を奪った戦争の悲惨さを感じ取らせたい。

確かに読み取る力をつけるために、想像したことを自分の立場や考えを明確にしながら、具体的な発言や文章として表現するために、話し合う活動や書く活動を計画的に位置づけて読み取りに生かしていきたい。

3 指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・場面の様子やその移り変わりを想像したり、自分の考えをまとめたりしている。

【読むこと】

- ・かげおくりをする状況の変化に応じて様子を想像しながら読み、ちいちゃんの気持ちを叙述を基に読み取ることができる。 < (1) 読ウ >
- ・場面の様子が分かるように声に出したりして読むことができる。 < (1) 読ア >

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・国語辞典を活用し、語句を確認したり、新出漢字を理解したりすることができる。

4 指導計画（11時間） 読むこと 11時間

段階	時	学 習 活 動	評 価 規 準
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元名やリード文から学習のめあてを確認する。 ・ 全文を通読し、あらすじをつかみ、初発の感想をもつ。 ・ 新出漢字を学習し、語句の意味を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争について興味をもち、現代の平和と自分の生活を含めた感想を書いている。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感想を交流し合って課題を作り、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感想を交流し、学習課題を考えている。 < (1) 読ウ >
第2次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一場面 家族みんなでかげおくりをする様子から、登場人物の気持ちを読み取る。 家族の幸せと両親の不安を想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族4人で楽しくかげおくりをする様子や気持ちを想像して、話したり書いたりしている。 < (1) 読ウ >
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二場面 ちいちゃんがひとりぼっちになった様子を想像し、場面の状況や登場人物の気持ちを読み取る。 「お母ちゃん」と叫ぶ言葉から不安な思いを想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとりぼっちになったちいちゃんの置かれた状況や気持ちを想像して、話したり書いたりしている。 < (1) 読ウ >
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三場面 ちいちゃんが母と兄の帰りを待ち続ける様子を想像し、場面の状況や登場人物の気持ちを読み取る。「きっと帰ってくるよ。」と信じて待つちいちゃんの気持ちを想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母と兄のとの再会を信じて待っているちいちゃんの様子や気持ちを想像して、話したり書いたりしている。 < (1) 読ウ >
	6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第四場面 ちいちゃんが一人でかげおくりをしている様子から、家族に会いたい気持ちを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちいちゃんが家族を思う様子や気持ちを想像して、話したり書いたりしている。 < (1) 読ウ >

	7	<ul style="list-style-type: none"> 第一～四場面と第五場面を対比して、戦争中と現代を対比して、平和な暮らしを考える。「戦争がちいちゃんからうばったもの」は何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦時中と何十年後の時代と比較をし、平和な様子を想像して、話したり書いたりしている。 <p style="text-align: right;">< (1) 読ウ ></p>
第3次	8	<ul style="list-style-type: none"> 音読発表会の計画を立てる。本の選ぶ、招待者 	<ul style="list-style-type: none"> 音読発表会の計画を話し合っている。 <p style="text-align: right;">< (1) 読ア ></p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> 音読発表会の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を自覚し、これまでの学習を生かして音読練習をしている。 <p style="text-align: right;">< (1) 読ア ></p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> 音読発表会をする。本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 本の内容が分かるように音読発表をしている。 <p style="text-align: right;">< (1) 読ア ></p>
	11	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめをし、単元学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読を聞いての感想や単元全体を通しての感想を話したり書いたりしている。 <p style="text-align: right;">< (1) 読ウ ></p>

5 本時の指導

(1) 目標

- ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子や気持ちを読み取ることができる。

(2) 指導に当たって

①対話について

- 本時では、ちいちゃんの家族に会いたい思いを読み取るために「対話」を位置づける。「一人学び」で「たった一つのかげぼうし」と「くっきりと白いかがが四つ」にサイドラインを引き、状況が変化したことをおさえておく。体が弱り切り死を目前にしたちいちゃんの一途な願いを、1つのかげおくりが4つのかげおくりに見えたちいちゃんの様子から読み取らせたい。その際、根拠を交流させるために話形を提示し、どの子も話せる手立てをとっていく。

②学び合いについて

- 対話で出し合った考えを交流して課題に迫っていく。家族に会いたいという切なる願いが叶ったちいちゃんのお気持ちが楽しさや喜びだけに終わらないように、根拠を交流する話し合いをしていきたい。その後、ちいちゃんの命が消え、花畑の中で家族に再会できたことも読み取り、とても悲しい状況であることを感じ取らせていきたい。

(3) 展開

段階	時間	学習内容と活動 活動（・）主発問（○）	指導上の留意点（・）と評価（◎）
見通す	5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 一人でするかげおくりは、ちいちゃんにとってどんなかがおくりでしょうか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 母と兄が帰ってくることを信じて、たった一人で待ち続けるちいちゃんのお気持ちと様子確かめる。 ちいちゃんにとって「〇〇〇かがおくり」とまとめることを指示し、まとめの見通しをもたせる。 <p>◎課題を理解し、かがおくりの様子を読み取ろうとする意欲がもてたか。</p>

<p>深 め る</p>	<p>35 分</p>	<p>3 学習場面を音読する。</p> <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) ちいちゃんの体の様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑いような寒いような気がした。 ・ひどくのどがかわいている。 <p>(2) 一人でかげおくりをするちいちゃんの様子と気持ちを読み取る。</p> <p>○お父さんとお母さんの声が「青い空からふつて」きたとありますが、どういう様子でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちいちゃんがかげおくりをしたことが分かる言葉にサイドラインを引く。 <p style="margin-left: 20px;"><一人学び></p> <p style="margin-left: 20px;"><対話></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちいちゃんの様子、会話文、行動に注意をして音読し、学習場面を確認する。 <p style="text-align: right;"><指名読み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防空壕の中でちいちゃんの体が衰弱しきっていることと一人ぼっちであることを確認する。 ・ 「青い空」から一番素敵な思い出を連想し、「ふつてくる」実在しない声が聞こえてきたことを確認する。 ・ 第1場面の家族みんなで遊んだかげおくりが1番の思い出であり、第4場面もその思い出の順番に声が重なることを確認する。 ・ かげおくりを一人でしている言葉とかげおくりをしたことが分かる文を確認する。一つのかげが4つになっていることをどの子にも意識させる。
	<p>T：4つのかげが見えた時、ちいちゃんはどんな気持ちになったのでしょうか。隣の人と対話します。「ちいちゃんは、～だと思います。～だからです。私は（ぼくは）、ちいちゃんが～だと思いました。～だからです。」と話します。友達の考えと比べながら聞いてください。</p> <p>A：ちいちゃんは、うれしかったと思います。やっと家族に会うことができたからです。私は、ちいちゃんがかわいそうだと思います。本物の家族に会っていないからです。</p> <p>B：ぼくもAさんと同じで、ちいちゃんはうれしかったと思います。一人ぼっちでさびしかったのに家族に会えたからです。ぼくもちいちゃんがかわいそうだと思います。4人のかげおくりがもうできないからです。</p> <p>A：それとお兄ちゃんの笑い声が聞こえたから、楽しかったのもあると思います。</p> <p>B：楽しい気持ちもあるかもしれませんね。</p>		
		<p>(4) 対話したことをもとに、全体で話し合いをする。</p> <p style="margin-left: 20px;"><学び合い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体が～空にすこまれる。 ・ 空色の花畑の中 ・ 小さな女の子の命がきえた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族と会えて喜びの大きさやちいちゃんが幸せな気持ちに包まれたことを確認し、まとめに生かす指導をする。 ・ 幸せな思い出に包まれ、その思いを抱いたまま空に吸い込まれた幸せなちいちゃんについて考えさせたい。悲惨な戦時下で、悲しい死を迎えたことや戦争の恐ろしさにも軽く確認する。

		<p>(5) 課題のまとめをする。</p> <p>○ ちいちゃんにとってどんなかげおくりでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんにとって「家族にやっと会えた」かげおくり ・ちいちゃんにとって「楽しい思い出の」かげおくり ・ちいちゃんにとって「家族とのうれしい」かげおくり </div> <p>・発表する。</p>	<p>◎読み取ったことを当てはまる言葉でまとめることができたか。</p> <p>・ちいちゃん一人ぼっちのかげおくりについて感想も付け加えて発表することを指示する。</p>
ま と め る	5 分	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様子や気持ちが伝わるように一部分を音読して学習を振り返る。 <指名読み> ・戦争がちいちゃんから奪った物について考える時間であることを確認する。

<具体の評価規準と支援>

A：ちいちゃんが家族を思う気持ちを想像して、かげおくりの題を考えたり自分の言葉で感想を話したりしている。

B：ちいちゃんが家族を思う気持ちを想像して、かげおくりの題を考えている。

C児への支援：板書をもとにちいちゃんの気持ちを振り返らせ、かげおくりの題が書けるように支援する。